

なる かわ 「生川倉庫運輸株式会社様」

●所在地/三重県鈴鹿市国分町650 ●TEL/059-346-4116

●mcAccess使用状況/mcAccess e (2007年6月導入・管理移動局1台/移動局19台利用)

冷凍車両の温度監視&動態管理にGPS機能付き mcAccess e を導入。 荷物が安心、お客様納得の情報システムを構築しました。

冷凍車の庫内温度と車両の現在位置を事務所の管理移動局で一括掌握。高度な品質管理と迅速・確実な顧客サービスで信頼性が向上しました。



「品質管理は徹底してやります」と語る
社長の太田 清さん。

冷凍車の庫内温度を 事務所で監視するため mcAccess e 導入へ。

生川倉庫運輸株式会社がある鈴鹿市国分町は、四日市工業地帯に程近く、近郊には大手メーカーのAV機器やパソコンの生産工場などが点在する物流の拠点です。

元は近在農家への肥料販売からスタートし、政府米の集荷・保管業務から営業倉庫業務へと変身を遂げた生川倉庫株式会社の運輸部門として、1982年に一般区域貨物自動車運送事業免許を取得し、グループの手足となり発展してきました。

mcAccess (800アナログ) を導入したのは、1989年(平成元年)のこと。トラック乗務員との連絡をリアルタイムにとりたい、との要望からでした。長きにわたり、事務所と乗務員を結ぶ通信手段として mcAccess を活用しましたが、携帯電話の普及等もあり、



国道1号線沿いにある倉庫建屋。

2006年2月に一旦廃止。その後、液晶ディスプレイ及び半導体の原材料を定温車で運搬する新たな業務に対して、車両ごとの庫内温度を事務所で監視する方法を検討する中、2007年6月GPS機能付き mcAccess e による温度監視&動態管理システムを導入することになりました。

パソコン画面で、 庫内温度と車両位置を一括管理。 お客様も安心・満足。



事務所のパソコン画面で車両位置を的確に把握。温度管理のデータも表示されます。

「導入前は、逐次乗務員に庫内温度を確認していましたが、大切な商品の状況を事務所で直接見守りたいとの強い思いから導入を決めました」。操作は簡単で、事務所のパソコンにあらかじめ条件を設定し、必要時に庫内の温度状況を画面で監視。異常があればアラーム表示で直ちに報せてくれます。

また、同時に管理責任者の携帯電話に連絡が入ります。導入後は、「安心して荷物を任せられる」とお客様から高い評価を得ています。その他、温度に関する乗務員の気遣いを軽減し、安全運転にも貢献しています。

一方、GPS(動態管理システム)は、実際に使用する中で期待以上の効果を発揮しました。第一に、要請があって荷物の到着時刻を確認する場合。事務所のパソコン画面で車両の現在位置が一目瞭然。状況を即座に報告できます。正確・迅速なフィードバック体制は、お客様やお届け先からも大変好評です。第二は、乗務員に対する目的地への車両誘導の場合。道路や日本語の読み書きに不慣れな日系ブラジル乗務員は、GPS機能を活用し、事務所から誘導することで大いに助けられたそうです。

お客様から託された荷物を良い状態で、決められた時刻に指定された場所へお届けす



トラックヤードに停車中の車両。北海道から九州まで広い地域をカバーしています。稼働車両数は約50台。

るのが運輸業の基本的な役割。そんな確実な仕事を積み重ね、お客様に安心・満足いただくためにも、mcAccess e による情報通信システムが活躍する範囲は広く、可能性も大きいと言えます。mcAccess e はこれからも様々な形で品質管理と顧客サービスに寄与し、お客様の事業の躍進をサポートしていきます。



前・中・後とパーテーションで3スペースに区切り、それぞれ3カ所の温度センサーが庫内温度を検知。事務所で監視しています。

温度センサー

POINT

●車両ごとの庫内温度を事務所(管理移動局)で監視

エンジンのON/OFF時および30分ごとにデータ発信。管理移動局のパソコン画面に表示されます。

●温度の異常発生時はアラーム表示

パソコン画面に緊急メッセージを表示し通報。同時に管理責任者の携帯電話に通報します。

●GPS(動態管理システム)で車両位置を即座に把握

到着時刻の問い合わせに対して、現在の車両位置を的確・迅速に報告できます。